

ひかりの園だより

ともに

第63号

発行日：平成27年6月

編集：法人本部事務局



社会福祉法人 ひかりの園



4月より開設した、
第三静光園「あかり」の正面玄関

第三静光園

竣工

平成二十七年三月二十六日、「第三静光園あかり」の竣工を多くの関係者の皆様とともに祝うことができました。心から感謝申し上げます。

振り返れば、第三静光園の増床について具体的に浜松市とご相談を始めてから六年近くの年月が過ぎようとしていました。

故平野綾子先生が開設されてから三十年が経過し、建物や設備も老朽化が進んでいたこと、介護保険制度の中では五十人定員の施設は経営が非常に苦しいということがこの増改築計画を考えるきっかけでした。何度も何度も浜松市との協議を重ねた末に、市の施設整備計画に対して二度目の要望書の提出でこの計画が



3月26日に竣工を祝いました。
採択されたのが平成二十五年のです。もちろん増床部分はユニット個室の構造で、ひかりの園の高齢者部門静光園グループ



ユニットリビング「祝田」。



明るい1階ロビー。



玄関を入った応接室にて。



安全性と機能性を追求しました。



では本格的なユニット個室の施設は初めての取り組みです。そこで建築工事とは別に、介護職員をはじめ全職員とユニットケアに対する勉強に取り掛かりました。とにかく「一人ひとりの生活習慣や好みを尊重し、今までの暮らしが継続できるようにケアする」というユニットケアの理念を理解すること、それに基づいてこれからの暮らしをイメージしていくという作業を一から始めなければならなかったのです。浜松市内をはじめ、遠くは京都の長岡京市にある施設まで、個々のユニットケアは素晴らしいと聞いた施設はできる限り見て参考にさせて頂きました。それは介護職員に限らず、相談員、看護師、ハウスキーパーの方まで全職員がどこかしらの施設を見て回りました。

その結果、私たちがたどりついたのは『二人ひとりの暮らしぶりも、暮らしの環境も「みんな違って、みんないい」』



ユニットリビング「百里」。

ということでした。

お手本は一般家庭にありました。ご家庭では、いつも



玄関前で、皆さんにっこり。

一緒に行動するわけではありません。個々の時間・空間が大切にされるから、家族と一緒にいる時間も大切になるのです。また、ご家庭のように、手を伸ばせば何かに届く環境の必要性を強く感じました。施設だからといって極端に広い居住空間では、歩くことが大変な入居者の方や認知症の方にとっては不安の対象となってしまうます。もちろん種々の法規制がありなかなか思うような狭さにはなりませんでしたが、胸を張って「狭いです」「狭くていいんです」と言えるようになったと思っています。さらに、ご家庭のお部屋がそれぞれに趣向が違いうように、どのユニットもすべて同じしつらえや色調である必要はなく、ユニットはそれぞれに違いがあつていいはずです。そのような思いを形にして頂きました。

これから私たちの本当の成果を問われる段階です。必ずしなければならぬという義務的な意味合



ご自宅のように洗い場での作業を楽しみます。



午後、団欒のひとつ。



かわせみをデザインしたステンドグラス。





真剣に聞き入っています

「相談援助」という仕事に携わるスタッフが配置されています。特別養護老人ホームやデイサービスなどの介護保険事業では「介護支援専門員（ケアマネジャー）」いわゆるケアマネさんが、ご利用者やご家族がどのような介護サービスの希望をするかを面接（アセスメント）して、どのような介護サービスが必要かを提案して、介護サービスが利用できるように、個別支援計画（ケアプラン）を作成することになっています。障害児支援および障害者支援でも介護保険制度と同じように、「相談支援専門員」がサービス等の利用計画作成を行い、サービス利用につなげています。また、提供されているサービスが適切か否かを評価することを「モニタリング」といいますが、これも介護支援専門員や相談支援専門員の大切な仕事です。

「相談援助」という仕事は、

直接的に介護や生活支援に携わることはありませんが、ご利用者の生活の質を大きく左右する重要な責任を負っています。よりご利用者のニーズに添ったケアプランを作成するためには、ご利用者や家族の思いや願いや本音を十分に

引き出し、それらを踏まえながら計画することが大切になります。そのために、相談援助に携わる職員は、対人援助のスキルとしてのコミュニケーション術を身につけ、たえず高めていくことが求められます。

ひかりの園では、法人で相談援助に携わる介護支援専門員や相談支援専門員を対象に、相談援助のスキルアップを目的とした研修会を開催しました。講師にケアタウン研究所の高室成幸先生を招き、二月十八日と三月二日の二日間をかけて、じっくりと相談面接の技法やアセスメントについて学びました。

初日の講義では、「聴く」ことの基本姿勢、質問の組み立てかた、質問の技術について学びました。初対面の人では緊張して、思っていることをうまく伝えられない、心配事やつらいことがあると話をしたくなくなる、うまく伝わらなかったり、聴いてもらえていないと感じると、どうせ分かってもらえないだろうと思ってしまう…そのようなご利用者やご家族はこのような不安を抱えていらっしゃると思います。「聴く」ために必要なことは、まず相手の表情や、声の調子にも注意を払うこと、相手に敬意を払い、心と耳を傾けているかが、何よりもまず大切であることを再確認しました。

二日目はアセスメントと分析力について学びました。講師の高室先生は、「C A D L」の視点が大切だと強調されてい



第二 静光園 苦情・相談等の報告

平成二十七年一月二十八日懇談会より

（苦情）
インフルエンザが流行している時に外出している人がいます。受診なら嘱託医に診て貰えないのですか？

（対応）

基本的には外出は控えて頂いていますが、歯医者や整形外科は、嘱託医の専門外ですので、専門医の受診が必要となります。また、緊急な要件でご家族と外出することもあります。説明してご理解を頂きました。

浜松協働学舎企画相談室長 高木誠一

ました。A D L (activities of daily living) とは「日常生活動作」という意味で、生活面の自立度や介護度を探るために、アセスメントにおいては重要な質問項目です。A D L の支援が最終の目標ではなく、A D L に C (Cultural) 〓その人の文化的・生活の視点を加えて、その人にとっての楽しみや心地よさ、夢中になれること、こだわりなどを現すために A D L の支援があることを忘れてはならないという話がとても印象的でした。



ケアマネ・相談支援専門員のスキルアップ研修を開催しました

ひかりの園が運営する福祉事業には、それぞれの分野で、「相談援助」という仕事に携わるスタッフが配置されています。特別養護老人ホームやデイサービスなどの介護保険事業では「介護支援専門員（ケアマネジャー）」いわゆる

ひかりの園では、法人で相談援助に携わる介護支援専門員や相談支援専門員を対象に、相談援助のスキルアップを

目的とした研修会を開催しました。講師にケアタウン研究所の高室成幸先生を招き、二月十八日と三月二日の二日間をかけて、じっくりと相談面接の技法やアセスメントについて学びました。

「相談援助」という仕事は、

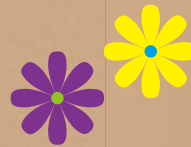
直接的に介護や生活支援に携わることはありませんが、ご利用者の生活の質を大きく左右する重要な責任を負っています。よりご利用者のニーズに添ったケアプランを作成するためには、ご利用者や家族の思いや願いや本音を十分に

引き出し、それらを踏まえながら計画することが大切になります。そのために、相談援助に携わる職員は、対人援助のスキルとしてのコミュニケーション術を身につけ、たえず高めていくことが求められます。

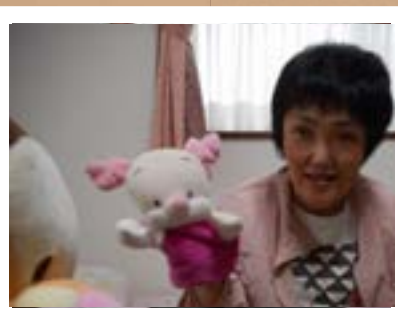
四月一日にスタートしたグループホーム、

コムニオ湖東

ワクワク、新鮮な生活を見せてもらいました！



リビングでも自分の居室でも、
落ち着けるのが一番！
お話したり、
趣味を楽しんだり。



「ただいま！」
笑顔で帰宅すると、暖かい家庭の雰囲気でお出迎え。



みんなそろって、はいチーズ！
わたしたちコムニオ湖東のことを
応援してくださいね (^^) ♪



楽しみなごはんは、
好きなものや食べやすさにも配慮しています。





様々な生活支援や相談に対し、的確な行動が取れる判断力や冷静さを持ち、ご利用者とその家族の持つ想いを感じ取れる温かさを兼ね備えた支援が自然に出来るようになるために、経験と努力を積み重ねていきます。

青葉の家 宮下孝輔

私は、一人ひとりと向き合い、常にご利用者の目線に立てる様な支援員になりたいと思います。その為に、日頃からご利用者の素敵な部分や大切にしていきたい部分を多く見つけていけるように努めていきます。



浜松協働学舎根洗寮 菅島志帆

今回このような出会い、機会を与えていただいた事に感謝したいと思います。今後は自分自身のスキルアップに努め、日々努力したいと思っています。



浜松協働学舎根洗寮 牧 聡子

新人職員のことば



ご利用者に「この人がいてくれて、良かった」と思ってもらえるような職員になりたいです。そのためにも、一人ひとりと十分に関わりを持ち、相手の気持ちに寄り添う支援が出来るように、精一杯頑張ります。

静光園 長谷川友美



私の学園における夢は、自身が地域との架け橋となり、一層地域社会との繋がりを築いていくことです。毎日笑顔で、元気一杯で、子供達と関わり、専門職として信頼される職員となることを目標に頑張りたいと思います。

ねあらい学園 鈴木香於里



この度、念願の職に就くことが出来、大変嬉しい気持ちで胸がいっぱいです。楽しい事も辛い苦しいこともあると思いますが、周りで支えてくださる方々と協力し、共に成長していけるよう頑張っていきたいと思っています。

ねあらい学園 中道 彩



職場では明るく元気な雰囲気を心掛け、ご利用者一人ひとりと向き合う事で、信頼関係を築いていけたらと思っています。ご利用者の顔を見るだけで、その日の調子がかかるくらい関係を築いていきます。

工房ゆう 影山亜古



ご利用者一人ひとりの個性を受け止め、それを生かす支援ができたかと考えています。コツコツできることを積み重ねて大きな目標を達成できるよう、ご利用者と一緒に成長していきたいです。

青葉の家 山口沙織



ご利用者にとって、施設での生活はご自身の生活の大部分を占めると思っています。そのような大事な生活の場をどのようにしていくべきかを、しっかり考えられる支援員を目指していきます。

青葉の家 山口裕大



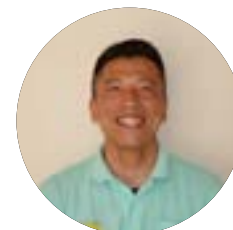
これまでも介護の仕事をしておりました。今まで仕事と家庭の両立で毎日があっという間に過ぎてしまいましたが、私にとっても良い節目を迎えるので、介護福祉士の資格を取得するため、今から勉強を始めていきたいと思っています。

第三静光園 廣瀬奈々



視覚障がいのある方々は、目が見えない分、不安な毎日を過ごされていると思います。そんな不安を少しでも解消できたらと思っています。その為には、視覚障害や介護の知識を学び、ご利用者と楽しく過ごしていきたいです。

第二静光園 坪井智恵



介護経験がないため、早く信頼される職員を目指して、知識と技術を身に付けることはもちろんですが、介護福祉士の資格を取得して、ご利用者が毎日安心した生活を送っていただけるよう頑張りたいと思います。

静光園 徳井吉造



「働くということ」は自分の存在意義にも深く関わってくる大切なことだと感じています。めげても、くじけなくても、楽しい仲間がいて、ワイワイ働ける。そんな職場を作っていきたいです。

相談支援事業所まど 鈴木朋美



20年程他法人の障害者支援施設で支援員をしてきて、縁あって相談支援をさせて頂く事になりました。私自身、身体障害者ですので、ご利用者に近い立場で支援できると思います。そうありたいと思います。

相談支援事業所まど 鈴木伸幸



ご利用者みなさん個性的です。そんな個性豊かな人達のサポートをする仕事をしたいと思い入社しました。信頼される素敵な女性を目標として日々努力していきたいです。

浜松協働学舎根洗寮 江川美沙



法人訓に沿った、ご利用者に頼っていただける、気軽に声を掛けていただける職員になりたいと思います。安心して生活していただける空間造りを心掛けます。

第三静光園 松下尚美



私は、ご利用者に、ユニットケアならではの個別ケアを感じていただき、「ここにいて良かった」と笑顔でお話ししていただける様に、寄り添っていきたくです。笑顔を忘れずにがんばります。

第三静光園 渡邊匡子

平成 27 年度 永年勤続表彰者

【十年永年勤続表彰】
法人事務局
ねあらい学園
ねあらい学園
浜松協働学舎根洗寮
浜松協働学舎根洗寮
工房めい

野畑 雅弘
斉藤 俊雄
鈴木 愛実
美和 一郎
村上 由樹
上甲 俊介



平成 27 年度入社式および辞令交付式 4 月 1 日

事業活動計算書
(第1号)平成26年 4月 1日(至)平成27年 3月31日

第2号の1様式

		(単位:円)		
勘定科目		当年度決算(A)	前年度決算(B)	増減(A)-(B)
サービス活動増減の部	介護保険事業収入	948,265,477	974,467,512	△ 26,202,035
	老人福祉事業収入	144,300,808	144,300,808	△ 1,799,842
	児童福祉事業収入	26,261,792	26,261,792	5,583,716
	障害福祉サービス等事業収入	950,669,659	879,212,963	50,756,726
	障害児養育年金収入	5,033,703	5,035,946	△ 2,243
	サービス活動増減収入計(1)	2,075,131,832	2,039,269,047	35,862,822
	人件費	1,439,772,787	1,450,815,470	△ 10,842,683
	事業費	308,039,056	298,430,582	30,409,074
	事務費	170,796,818	164,246,974	6,749,844
	利用料金軽減減額	2,168,458	2,671,135	△ 502,677
サービス活動外増減の部	施設整備費	159,883,682	151,265,019	8,418,663
	固定資産等特別増立金取崩額	△ 18,448,056	△ 30,567,943	△ 7,345,115
	サービス活動外費用計(2)	2,002,318,142	1,979,638,537	28,289,268
	サービス活動増減差額(3)=(1)-(2)	72,813,694	59,630,510	18,079,684
サービス活動外増減の部	借入金利息補助金収入	1,014,180	1,045,920	△ 331,740
	受取利息配当金収入	286,375	281,941	4,434
	その他のサービス活動外収入	28,158,790	17,570,098	10,588,692
	サービス活動外収入計(4)	29,459,245	19,108,959	10,350,286
	支払利息	6,279,754	6,505,667	△ 225,913
	その他のサービス活動外費用	13,204,010	12,180,960	1,023,050
	サービス活動外費用計(5)	19,483,764	18,686,627	897,137
	サービス活動外増減差額(6)=(4)-(5)	9,975,481	11,422,332	9,459,249
	経常増減差額(7)=(3)+(6)	82,789,175	71,052,842	11,736,333
特別増減の部	施設整備等補助金収入	151,298,744	41,501,933	109,796,811
	施設整備等寄附金収入	470,880	470,880	0
	固定資産売却益	156,135	156,135	0
	その他の特別収入	52,000	621,568	△ 569,568
	特別収入計(8)	359,817,759	42,550,456	317,267,303
	固定資産売却損・処分損	839,324	17,680,246	△ 16,840,922
	固定資産等特別増立金取崩額(除却等)	△ 47,071	△ 6,884,831	6,837,760
	固定資産等特別増立金繰上額	151,298,744	41,501,933	109,796,811
	その他の特別支出	0	130,665	△ 130,665
	特別費用計(9)	152,290,997	52,434,014	99,856,983
当期活動増減差額(10)=(7)+(8)-(9)	経常増減差額(10)=(7)+(8)-(9)	△ 73,338	△ 19,110,623	19,037,285
	特別増減差額(11)=(7)+(8)-(9)	81,820,837	43,446,419	38,374,418
	繰越剰余金活動増減差額(12)	2,101,454,195	2,029,209,776	72,244,419
	繰越剰余金繰上活動増減差額(13)=(11)+(12)	2,183,274,832	2,072,656,195	110,618,637
	繰上剰余金取崩額(14)	0	0	0
	繰上剰余金繰上活動増減差額(15)	108,746,118	108,746,118	0
	繰上剰余金繰上活動増減差額(16)	11,246,118	11,246,118	0
	繰上剰余金繰上活動増減差額(17)=(15)+(16)-(14)	2,292,020,950	2,191,402,313	100,618,637
	繰上剰余金繰上活動増減差額(18)=(17)+(14)-(15)	2,292,020,950	2,191,402,313	100,618,637
	繰上剰余金繰上活動増減差額(19)=(18)+(16)-(17)	2,292,020,950	2,191,402,313	100,618,637

平成26年度社会福祉法人ひかりの園事業報告(抜粋)

1 理事・評議員会開催状況

■理事会開催

第1回 平成26年5月26日

- 平成25年度事業報告及び決算について
- 平成25年度監事監査報告について 他

第2回 平成26年7月14日

- 第三静光園増改築事業に係る入札結果及び経過報告について
- コムニオ湖東建設事業に係る入札結果について 他

第3回 平成26年12月15日

- 平成26年度補正予算について
- 定期監事監査報告 他

第4回 平成27年3月23日

- 平成27年度事業計画について
- 平成27年度当初予算について 他
- 役員改選

■評議員会開催

第1回 理事会同日に同内容について

第2回 理事会同日に同内容について

第3回 理事会同日に同内容について

第4回 理事会同日に同内容について

2 広報活動

「ひかりの園だより」とともに

第61号 平成26年 6月20日発行

第62号 平成26年12月20日発行

「ひかりの園ホームページ」

<http://www.hikarinosono.or.jp> にて新着情報を随時更新

資金収支計算書
(第1号)平成26年 4月 1日(至)平成27年 3月31日

第1号の1様式

		(単位:円)		
勘定科目		予算(A)	決算(B)	差異(A)-(B)
サービス活動増減の部	介護保険事業収入	936,851,000	948,265,477	△ 11,414,477
	老人福祉事業収入	144,300,808	144,300,808	0
	児童福祉事業収入	26,261,792	26,261,792	0
	障害福祉サービス等事業収入	950,669,659	950,669,659	0
	借入金利息補助金収入	1,014,180	1,014,180	0
	経費経費寄附金収入	5,000,700	5,000,700	0
	受取利息配当金収入	286,375	286,375	0
	その他の収入	32,594,000	28,158,790	4,435,210
	サービス活動増減収入計(1)	2,102,000,000	2,104,590,794	△ 2,590,794
	事業活動収入計(2)	2,102,000,000	2,104,590,794	△ 2,590,794
サービス活動外増減の部	人件費支出	1,439,790,000	1,439,850,042	△ 60,042
	事業費支出	308,039,056	308,039,056	0
	事務費支出	170,796,818	170,796,818	0
	利用料金軽減減額	2,168,458	2,168,458	0
	支払利息支出	6,279,754	6,279,754	0
	その他の支出	13,204,010	13,204,010	0
	サービス活動外支出計(3)	1,938,973,086	1,938,973,086	0
	事業活動増減差額(4)=(2)-(3)	163,026,914	165,617,708	△ 2,590,794
	施設整備等補助金収入	151,298,744	151,298,744	0
	施設整備等寄附金収入	470,880	470,880	0
特別増減の部	固定資産売却益	156,135	156,135	0
	固定資産売却損・処分損	839,324	17,680,246	△ 16,840,922
	固定資産等特別増立金取崩額(除却等)	△ 47,071	△ 6,884,831	6,837,760
	固定資産等特別増立金繰上額	151,298,744	41,501,933	109,796,811
	その他の特別支出	0	130,665	△ 130,665
	特別費用計(5)	152,290,997	52,434,014	99,856,983
	特別増減差額(6)=(4)+(5)-(6)	163,026,914	165,617,708	△ 2,590,794
	繰越剰余金活動増減差額(7)=(6)+(7)-(8)	2,265,026,914	2,265,026,914	0
	繰越剰余金繰上活動増減差額(9)=(7)+(8)-(9)	2,265,026,914	2,265,026,914	0
	繰越剰余金繰上活動増減差額(10)=(9)+(9)-(10)	2,265,026,914	2,265,026,914	0

資産負債計算書
平成26年 4月 1日現在

第3号の1様式

		(単位:円)		
勘定科目		当年度決算(A)	前年度決算(B)	増減(A)-(B)
資産の部	現金当座	1,207,113,061	1,206,205,072	907,989
	短期債権	1,218,409,789	982,577,521	235,832,268
	事業未収金	296,806,281	296,586,581	219,700
	未収金	26,065,968	26,065,968	0
	未収補助金	146,427,282	28,593,299	117,833,983
	貸倒金	22,783	22,783	0
	立替金	2,262,001	1,759,608	502,393
	繰上金	2,431,900	914,259	1,517,641
	繰上金	714,248	1,217,121	△ 502,873
	繰上金	1,849,853	259,009	1,590,844
負債の部	固定負債	4,233,289,283	3,621,425,229	611,864,054
	固定負債	2,826,867,175	2,826,867,175	0
	土地	642,432,147	627,453,269	14,978,878
	建物	2,207,989,829	2,181,058,785	26,931,044
	その他の固定資産	1,282,611,237	1,206,049,000	76,562,237
	流動負債	102,848,186	126,624,342	△ 23,776,156
	建物	738,163,888	738,163,888	0
	敷金	201,252,817	96,231,966	105,020,851
	長期貸付金	16,212,958	5,122,244	11,090,714
	繰上金	78,539,022	41,389,681	37,149,341
純資産の部	繰上金	0	0	0
	繰上金	2,902,147	66,123,969	△ 63,221,822
	繰上金	1,563,950	2,879,094	△ 1,315,144
	繰上金	22,473,542	21,308,542	1,165,000
	繰上金	51,909,640	51,909,640	0
	人件費繰上金(繰上)	54,009,000	54,009,000	0
	施設整備等繰上金(繰上)	22,345,000	22,345,000	0
	施設整備等繰上金	94,909,000	136,009,000	△ 41,100,000
	その他の繰上金	452,130	507,379	△ 55,249
	繰上金合計	5,244,309,284	4,288,284,371	956,024,913

平成26年度の施設別苦情の件数・種類

◎苦情(要望・提案等を含む)受付状況(H26年4月1日～H27年3月31日)

①苦情(要望・提案等を含む)受付状況(H26年4月1日～H27年3月31日)

内容	第1期	第2期	第3期	第4期	第5期	第6期	第7期	第8期	第9期	第10期	第11期	第12期
説明・情報提供不足	4	1			4	1					0	2
手続きの方法の不明									1			
サービスの内容	2		1	1	1	2	1	1		1		
職員の言葉・態度										1		
権利侵害												
被害・損害												
利用者のトラブル		2				1						
施設の設備			1	1								1
その他					1							
合計	6	3	2	7	3	2	1	1	1	2	0	3

私たち、ひかりの園の職員です。



まど
鈴木宏幸

ともにをご覧の皆様、こんにちは。鈴木宏幸です。今年の1月から相談支援事業所まで相談支援専門員として働かせていただいています。ひかりの園で働いて早14年、やればできるといわれ続け早37年の月日が流れました。自分にはできないことも周りの助けがあればなんとかできると知ることができました。お酒が好きです。これからは冷たいビールと枝豆が美味しい季節です。塩味はきつめが好きです。人間は温かくて優しい人が大好きです。奥さんは基本とても優しい人です。先輩からボランティアと揶揄されるほどです。基本お酒に呑まれた翌朝には、奥様の威圧感に呑まれます。迎え酒のようなものですね。それでも2人の娘とともに4人幸せに暮らしています。

35年のローンを組み、このたびマンションを買いました。6階です。高所恐怖症ですが、足下を見ないように暮らしていく覚悟です。仕事中は足元を大切に、相談者の方に寄り添い、ともに歩むことで、微力ながら皆様が幸せに暮らせるお手伝いできたらと思います。



第三静光園
杉浦由紀子

第三静光園で働いています看護師の杉浦由紀子です。とある研修会での偶然？必然？の出会いがきっかけで第三静光園の看護師になってもうすぐ一年。私がこの一年で感じた第三静光園のいいところは、スタッフが明るいところ。そして、ご利用者一人ひとりを思う気持ちにあふれているところです。多職種がそれぞれの立場や専門的な観点から意見を出し、時にはお互いに意見を譲れず結論が出るまでに時間がかかることもありますが、話し合いを重ね、連携して、みなでご利用者の暮らしを支えていることを日々感じています。今はまだ、支えるより支えていただく事の方が多い私ですが、一日も早く、慣れない私を暖かく見守り笑顔とトークで癒して下さるご利用者やご家族の皆さんの支えになれるようになりたいと思います。

働き始めて一年が過ぎ、趣味のテニスを再開したいと思い始めた今日この頃。他にも、音楽やイラスト、楽しいトークでみんなを楽しませる同僚職員の姿を見て、私もご利用者と一緒に楽しめて、自分の老後の趣味になるようなことを何か始められたらと探しています。お勧めのものがありませんでしたら教えてください。

こんな私ですが、皆さんよろしくお願ひいたします。



たっく
高林朋世

子ども発達センターたっくで、併行通園・毎日通園のグループと各グループの音楽活動を担当しています。

日々の療育では、子どもたちの行動の裏にはどんな思いがあるのかを考えて関わることを大切にしています。子どもたちが活動に興味を持ってくれたり、「もっとやりたい！」と意見を表現してくれたときには、「通じ合えた！」という気持ちになり、とても嬉しくなります。また音楽活動では、ことばで自分の思いを表現することが苦手な子も、自分から楽器を叩いたり積極的に表現しようとする姿がみられ、新しい発見があります。

これからも、子どもたちの成長や笑顔をたくさん発見していきたいと思っています。



寄付

ジャンボエンチョー様
チューリップをありがとうございました



小塩報恩会様
発電機をありがとうございました



ボランティア 浜松日体中高等学校

高2 T・Hさん

私が初めて青葉の家に行ったのは4年前でした。イベントはどたばた運動会でした。初めての場所で緊張していた私に、優しく暖かな笑顔で接してくださったのが、利用者さんと職員さんでした。

青葉の家の皆さんは、一人ひとりがとても優しく、いつも笑顔で、私たちボランティアと分け隔てなく接してください。そしてその中にも個性が光っていて素敵な出会いがたくさんあります。特に印象に残っているのは、クリスマス会の時、一通り出し物が終わり、会場を片付けた後の空き時間です。私はまだ自分から話しかけたり、一緒に何かしたりすることができませんでした。そんな時、小さな赤い車のおもちゃを持って、一緒に遊ぼう、と誘ってくれたのです。とても嬉しくて、心がふわっと軽くなるのを感じました。

ボランティアと関係ないところでも、これからも青葉の家の方と関われば良いと思いました。そして、そこから笑顔の輪が広がっていけばと願っています。

高1 O・Hさん

青葉の家の皆さんとは、どたばた運動会やクリスマス会などで毎年お会いしています。私はボランティアとしてそれらのイベントに参加していますが、どれもとても楽しく、温かい雰囲気だと感じています。特に、どたばた運動会は、私たちが種目の一つを企画しています。毎年、うまく説明できるか、楽しんでいただけるだろうかと不安に思うときもありますが、皆さんの笑顔を見るとそんな心配は吹き飛びます。私たちが皆さんから元気をもらっているような気がします。職員の方々も優しく私たちを見守って下さっていて、本当に感謝しています。「楽しんでね。」という言葉をいただくことが多く、その言葉のおかげで、自然体のままイベントに楽しんで参加することができています。

私は中学一年生の頃から三年間、部活動を通して青葉の家の皆さんと交流しています。皆さんとの交流の中で、私自身も成長することができました。これからもよろしくお願いします。

中3 石原実愛さん

青葉の家は利用者の方も職員の方も明るい施設だと思いました。

初めて青葉の家のどたばた運動会への参加が決まったとき、私は「自分たちが行う運動会よりも静かな雰囲気で行うのかな。」と想像していました。しかし、いざ会場に入ってみると大勢の利用者さんが集まるとともにぎやかな運動会なんだと驚きました。私の担当したクラスは静かで人数の少ないクラスでしたが、他のクラスの人たちの競技をしっかりと見ていたり、自分のクラスの仲間の応援を一所懸命したりしていました。私はその姿がとても印象深く残っていて、とても楽しくて優しい雰囲気だと感じました。

それは、どたばた運動会だけでなくクリスマス会の時も同じでした。この施設で学んだことを他の施設でも生かしていこうと思っています。



支援のワンポイント

視覚に障がいがある方への支援

皆さんは街で白い杖（白杖）を持った人を見かけたことがありますか？

白い杖（白杖）

視覚障害者の周知（ドライバーや他の歩行者などへの注意喚起）
歩行に必要な情報の収集（段差や歩道の切れ目などのランドマーク）
安全確保（前方の障害物や危険の防御）



人は、生きていくための情報を視覚、聴覚、嗅覚、触覚、味覚の五感で取り入れますが、視覚に障害があると情報の80%を失ってしまうと言われています。第二静光園では、視覚障害のある方々の日常生活が少しでも豊かになるように、視覚以外で残された感覚がフルに活用されるように配慮することを心がけています。

第二静光園での支援を紹介させていただきます。

聴覚：声をかけるときには、いきなり声をかけるのではなく、正面から「〇〇さん、〇〇です。」と、その人の名前を呼んでから、自分の名前を言います。そしてその後から要件をハッキリとした声でゆっくり話すようにしています。

触覚：ご利用者は、触れることによって物の形や位置を確認されています。また、ほほやおでこに受ける空気の圧力の違いによって、曲がり角や部屋の広さなどを覚知できる方もいらっしゃいます。白杖の触れた感じや足の裏の感じから、床の状態や道路の様子を判断されています。第二静光園では触覚によって環境が理解できるよう、点字ブロックや点字テープが要所要所に設置されています。

丁寧な説明：食べることはとても楽しみです。何が何処にあるか分かりにくいので、丁寧に説明をします。主食は左手前、汁は右側手前、副菜はその上と基本的に食器は同じ配置にしています。「左手手前にはご飯です。右側にはお味噌汁があります。」「中身は大根、人参・・・」食材等の説明も詳しくお知らせします。熱い食べ物には「熱いので気を付けてください。」とお伝えします。

第二静光園は、静かな環境のなか、ふれあいを大切に、障がいのある高齢者の方々が健康で安心して生活していただけるよう努めております。



社会福祉法人ひかりの園の概要

理事長 川島順三
法人本部 事務局長 太田敏明

〒433-8108 浜松市北区根洗町 681-5
TEL(053)437-8289 FAX(053)430-0819 Eメール info@hikarinosono.or.jp



ひかりの園ホームページ
<http://www.hikarinosono.or.jp/>

特別養護老人ホーム
静光園
園長 山中康義

☎ 053-445-1300

養護盲老人ホーム
第二静光園
園長 佐藤三四二

☎ 053-428-3128

特別養護老人ホーム
第三静光園
園長 栗本昌紀

☎ 053-437-8288

小規模多機能型居宅介護事業
なごみの家
管理者 鈴木佐知子

☎ 053-445-1753

児童発達支援センター
浜松市根洗学園
園長 松本知子

☎ 053-436-9318

子ども発達センター
たっく
園長 松本知子

☎ 053-485-6122

生活介護
根洗作業所
所長 深見 誠

☎ 053-436-5529

生活介護
青葉の家
所長 犬塚 淳

☎ 053-570-1700

グループホーム
コムニオ湖東
寮長 鈴木秀明

☎ 053-485-4600

生活介護
工房めい
所長 鈴木秀明

☎ 053-430-4710

生活介護
工房ゆう
所長 鈴木秀明

☎ 053-570-1310

障害者支援施設
浜松協働学舎根洗寮
寮長 高木誠一

☎ 053-430-0596

グループホーム
ラポール根洗
寮長 深見 誠

☎ 053-420-1325

手作り陶器・手作りクッキー
焼きたてパンのお店
しまうま倶楽部

グループホーム
すてっぷ・ほっぷ
寮長 大橋正季

☎ 053-570-1702

グループホーム
こもれび
寮長 犬塚 淳

☎ 053-439-6800

グループホーム
ぱれっと
寮長 高木誠一

☎ 053-420-0250

相談支援事業所
まど
所長 高木誠一

☎ 053-570-1312

第二青葉の家併設店舗
三方原霊園バス停の東側です。
☎ 053-439-8235



編集後記

吉田時成

普段のご利用者支援とは、まったくタイプの違う編集委員の仕事。

法人内のいろんな施設から職員が集まり、「あんなイベントを紙面に載せよう」「えっそんな楽しそうなことしてるんだ!」と、刺激や新しい発見の連続でワクワクします。